



## 平和への祈りを込めて、千羽鶴を奉納

和歌山大空襲から71年となる7月9日(土)、汀公園で市戦災死者追悼法要が営まれました。本校では、1年生が、毎年この時期に、公園周辺だけで750人が亡くなったとされる大空襲について学び、平和への祈りを込めて千羽鶴を折り、奉納させていただきます。

法要に参列した1年生の代表は、「式にはたくさんの方が参列されていました。高齢の方が多かったですが、若い私たちが、戦争の悲惨さ、命の大切さを受け継いでいかなければならないと思



いました。私たちの作った鶴を、和歌山市戦災遺族会の理

事長さんが涙ぐみながら受け取ってくださいました。校区にある汀公園が、平和や命を考える場所として今も残っていることをうれしく思いました。」と話していました。

戦災で亡くなられた多くの皆様のご冥福をお祈り申し上げます。



## 思春期講座から

7月8日(金)2年生を対象に「思春期講座」を開きました。NPO法人 有害環境から子どもを守る会の岡崎正子先生からお話を伺いました。エイズに感染する人が日本でも若い人を中心に年々増えていることや、エイズは普通の生活を送っていれば感染することはないが安易な性行為によって危険性が高まることなど、具体的な例をあげて説明していただきました。始めは緊張気味の2年生でしたが、個性について、また男女の交際について話す中で表情が緩み、笑い声も出るようになりました。

先生が話された、「愛には大きな責任が伴う」「男として女としてどう生きていくか、自分の人生をどう生きるかを考える」などの言葉は、それぞれの心にしっかり届いたと思います。

## 七夕

### ～みんなの願い～

今年も生徒会が、玄関前に七夕飾りの用意をしてくれました。

「高校合格できますように」

「中体連で勝つ！」

「絵がもっとうまくなりますように」

「もっと上手に吹けますように」

「身長が伸びますように」

「この世から戦争がなくなりますように」

「心も体も、大きくなりたい」

「自分が本当にやりたいことを見つけられますように」

たくさんの願いが書き込まれました

そして、「みんなの願いが、かないますように！」



## 挨拶の伝統 志磨神社にて

志磨神社の夏祭りが、7月14日、15日に行われ、今年もPTA校外指導部の皆さんが補導活動に出てくださいました。暑い中、ありがとうございました。

今回の補導活動中に、卒業生の保護者の方からお話を伺う機会がありました。伏虎中学校に対する思い出を次のように話されていました。

「中学校に行くと、生徒たちが私たち保護者にもいつも大変気持ちのよい挨拶をしてくれました。その挨拶で、学校への安心感が生まれたり、自分の気持ちが穏やかになったりしました。そのことはとても嬉しい思い出です。」「挨拶はとても大事ですよ。いつか社会に出て仕事をすることになったとき、まず問われるのは挨拶ができるかどうかだと思います。挨拶は社会人としての基本ですよ。」

伏虎中を見守ってくれている地域の方がたくさんいます。これからも、良き伝統として大切にしていきたいですね。